

平成28年度公益財団法人埼玉県体育協会第二回定例理事会議事録

日 時 平成28年9月1日(木) 午後3時より

会 場 スポーツ総合センター 203・204研修室

出席者<理事>

櫻井 勝利 三戸 一嘉 杉山 剛士 羽鳥 利明 大保木道子
藤井 範子 新井 彰 遠山 正博 河本 弘 佐藤 高弘
小林 正幸 森田 進一 坂口 信豊 山中 茂樹 後藤 節哉
荒木 郷兵 梅澤 昌好 大塚 賢一 茂木 敬司 浅見 茂
山之内正隆 以上21名

<監事>

原口博 堀口信孝 青砥修二 以上3名

<事務局>

岩崎 充晃 栗原健一 野澤誠一 鈴木征 赤木秀次 久保 吉史
以上6名

岩崎事務局長 定足数の報告を行います。理事総数30名、内21名出席、よって本会は成立したことをご報告いたします。

あいさつ

櫻井副会長 お忙しいところお集まりいただき誠にありがとうございます。リオデジャネイロオリンピックも終わり、埼玉県関係者の活躍をはじめ、日本選手の活躍があった。特に、スポーツ埼玉誌の表紙を飾った4名が、それぞれメダルを獲得したことは素晴らしいことだと思う。また、国体の関東ブロック大会が山梨県で開催され、昨年より若干成績がふるわなかったが、少数精鋭で本大会には頑張ってもらいたい。

理事の自己紹介

定款により、櫻井副会長が議長となる。

櫻井副会長が議事録署名人の指名について諮り議長一任となり、河本弘理事と新井彰理事を指名し、承認を得る。

第一号議案 定款及び細則の改正について、

三戸専務理事 5月30日の評議員会において、定款の改正について決議をいただきました。評議員会の決議の省略について、新たに第19条を設定し、「理事が、評議員会の目的である事項について提案した場合において、その提案について決議に加わることのできる評議員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思を示したときは、その提案を可決する旨の決議があったものとみなす。」としました。また、カッコ書きとして、「監事が当該提案に異議を述べたときを除く」、と入れましたが、備考欄にあるように、県の公益等認定委員会より、カッコ内の部分を削除するようご指導がありましたので、削除しました。

第19条を新たに設定したので、以降の条数を順送りしました。

また、第29条に役員等の報酬等について、新たに第2項として、「前項の他、役員等が国又は地方公共団体等が認定する資格を有し、当該資格に係る専門的業務を遂行した場合は、報酬を支払うことができる。」としましたが、先と同じく県公益等認定委員会より、当該専門的業務の遂行の対価は、役員報酬ではなく、給料手当、諸謝金等と経理するべき、とのご指導をいただいたので、改正案のとおり、第2項の冒頭に「前項の規定にかかわらず」を挿入し、本会細則第7章第18条に、第2項として「役員等が、国又は地方公共団体等が認定する資格を有し、当該資格に係る専門的業務を遂行した場合は、報酬を支払うことができる。」を挿入し、謝金としてお支払したいと思います。今後の手続きとして、「決議の省略」のとおり、評議員にお諮りしたいと思います。

議長 第一号議案「定款及び細則の改正について」お諮りします。ご異議ありませんか。

異議無し

議長 第一号議案は承認されました。

第二号議案 専門委員会規程の改正及び選手強化対策委員会規程の改正について

三戸 本会細則において、「専門委員会の組織及び事業等に関する重要事項は、理事会に報告し、承認を得なければならない。」とありますが、現行の7つの専門委員会規程では、「委員会の決定事項」とあります。委員会のすべての決定事項を理事会の承認を得るのではなく、細則に添って「重要事項」に改正し、併せて、附則を加えることとしたいと思います。また、選手強化対策委員会規程第5条第5項において、「理事会の承認を得て、常任委員会及び部会を置くことができる。」とありますが、今年の改選時、新しい専門委員会委員を決めいただきましたが、選手強化対策委員会は、常に国体の強化をはじめとして、

空白期間を作らないようにしなければなりません。現行だと理事会の承認を得て常任委員会を置くことになるが、5月30日から9月1日の理事会までの空白ができてしまうので、予算執行等の責任問題も含んでいるので、選手強化対策委員会だけ、「細則第38条第5項に基づき、常任委員会を置き、必要に応じて部会を置くことができる。」としたい。

議長 第二号議案「専門委員会規程の改正及び選手強化対策委員会規程の改正について」お諮りします。ご異議ありませんか。

異議無し

議長 第二号議案は承認されました。

報告事項

(1) 第71回国民体育大会関東ブロック大会成績について

三戸 ブロック成績一覧により、出場状況を説明する。埼玉県は東京に続き突破率は57.1%であったが、本大会入賞ポイント308.5は神奈川に次いで第3位となりました。チームゲームの出場状況の影響が大きい。なんとか本大会で選手に頑張ってもらいたい。

(2) 第71回国民体育大会「希望郷いわて国体」について

三戸 会場と日程一覧を説明。会期前競技として水泳関係が9月4日から開催される。

(3) 東日本大震災復興祈念スポーツ交流事業について

岩崎 8月5日から7日まで、スポーツ総合センターで行われ、福島県91名、埼玉県81名、スタッフ16名の192名の交流が行なわれ、有意義な交流ができた。

(4) 平成28年市町村体育協会連絡会議について

岩崎 6月29日から7月8日まで、4会場で述べ60市町村、145名の参加者で開催された。

(5) 日本体育協会の名称等に関する調査について

三戸 先般理事の皆さんにアンケートをとらせていただきました日体協の名称につきましても、別紙のとおり反対もありましたが、賛成が多い結果でした。平成20年体協100周年の時に調査があり、本県は名称変更賛同したこともあり、賛同したいと思っております。名称については、日体協が相応しい名前を決めれば良いことと考えます。国民体育大会の名称については、国体開催を予定し

ている県や市町村などにも多くの影響があるので、広く意見を聞き反対意見にも配慮して欲しいと考えておりますので、このような内容の回答をします。

(6) 委員会報告

総務委員会（三戸）、選手強化対策委員会（三戸）、普及委員会（茂木）、広報委員会（佐藤）、施設委員会（新井）、スポーツ科学委員会（小林）、指導者委員会（藤井）、スポーツ少年団（佐藤）、スポーツ指導者協議会（三戸）、物品等請負業者審査選定委員会（櫻井）が、資料に基づき報告した。

(7) リオデジャネイロオリンピック本系関係者について

三戸 本県関係メダリスト一覧・彩の国アスリート成績一覧を資料に説明。

大保木 近代五種朝長なつ美選手は狭山に住んでいるが掲載されていない。

三戸 本資料は埼玉県関係者のみで、朝長選手は東京都の警視庁登録になっている。

午後4時10分終了